

# 第3回新産業戦略協議会に 向けた事前検討

2016年3月7日

株式会社 安川電機

生産・業務本部

吉田 一昭

© 2015 YASKAWA Electric Corporation

## 『国として実証の場を構築する場合に必要な事項』

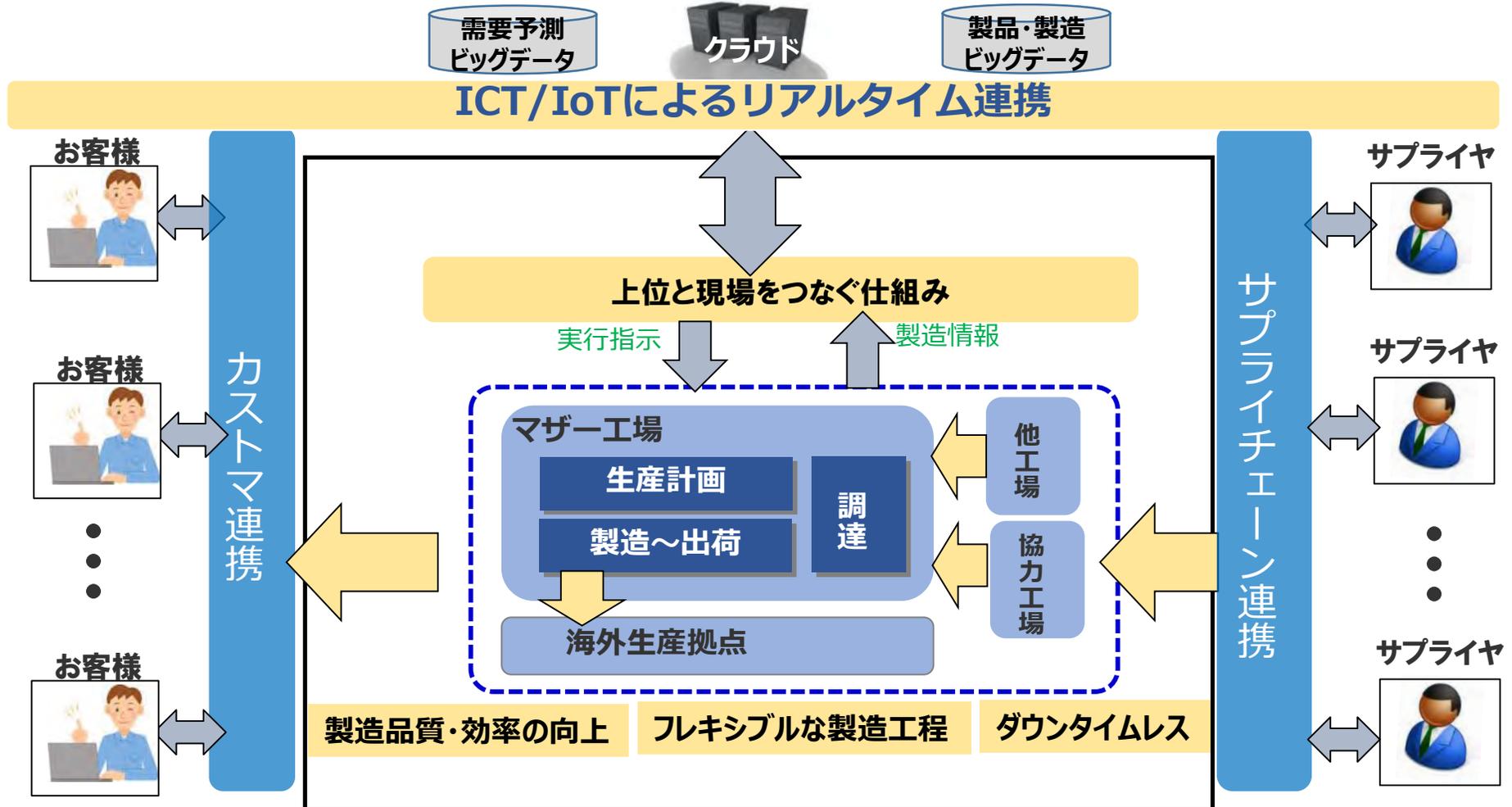
- ・ 国として方針・戦略の明確化
- ・ 実証の場に参加することのメリット、デメリットを明確にする
- ・ 実際に製品の生産を行いバリューチェーンまでの評価を行う。（補足1）
- ・ 現場レベルで使われる装置は多種多様に渡るため、多くのプレイヤー参加型とする。（補足2）  
（各用途、機能別のグルーピングを実施）

## 『実証の場で検証すべきグローバル競争力を発揮可能な差別化技術』

- ・ 各階層でのプラットフォームの規格化とインターフェース（補足3）
- ・ ものづくり現場のノウハウを可視化・データベース化し、自動化ノウハウとしてフィードバック  
ノウハウはブラックボックス化とする。（補足4）

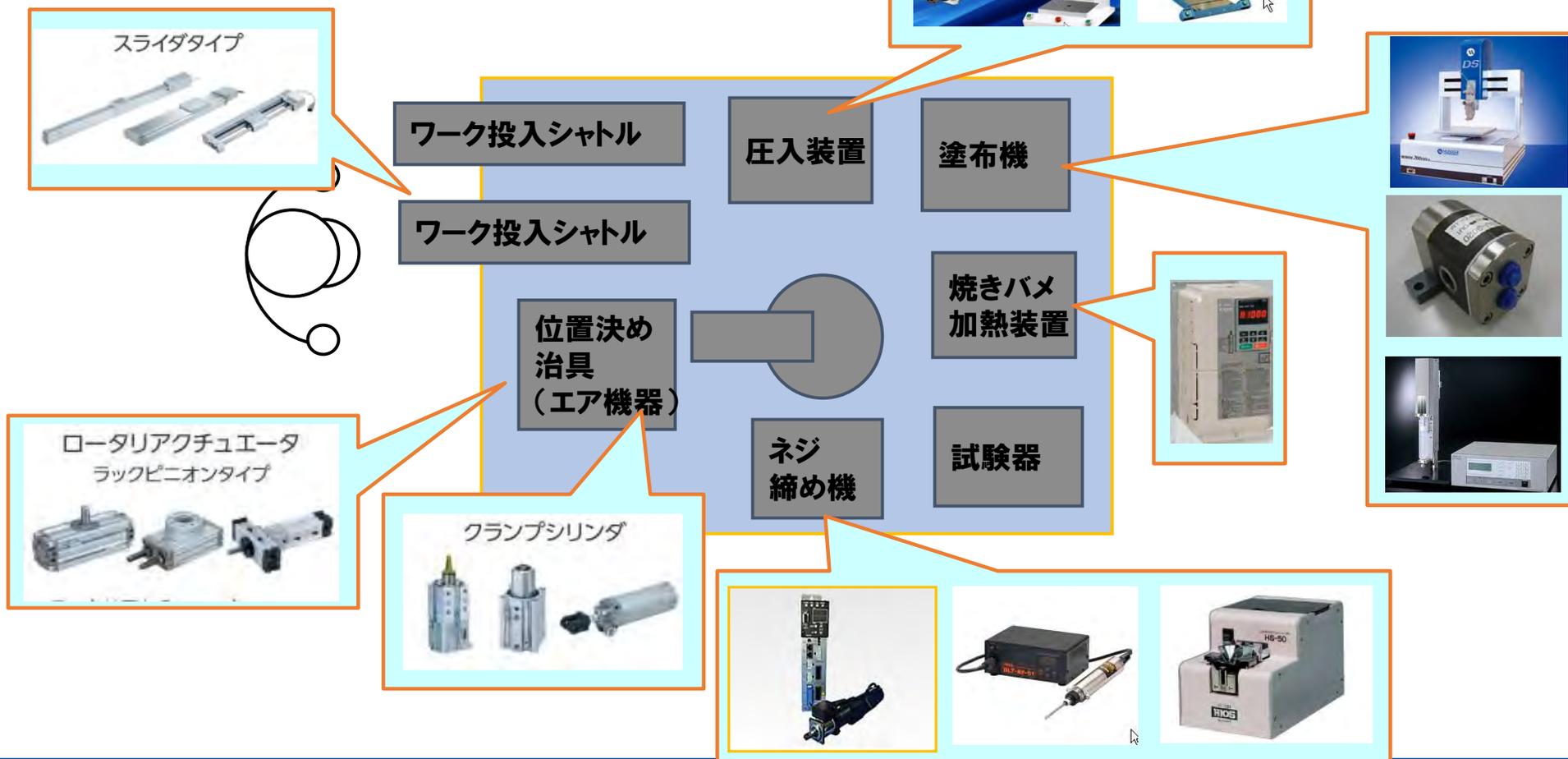
# 【補足 1】 次世代の生産システム（新たなものづくり）

お客様要望（欲しいものが選べる、欲しい時に届く）をスマートに実現する、  
リアルタイムで繋がる生産システム

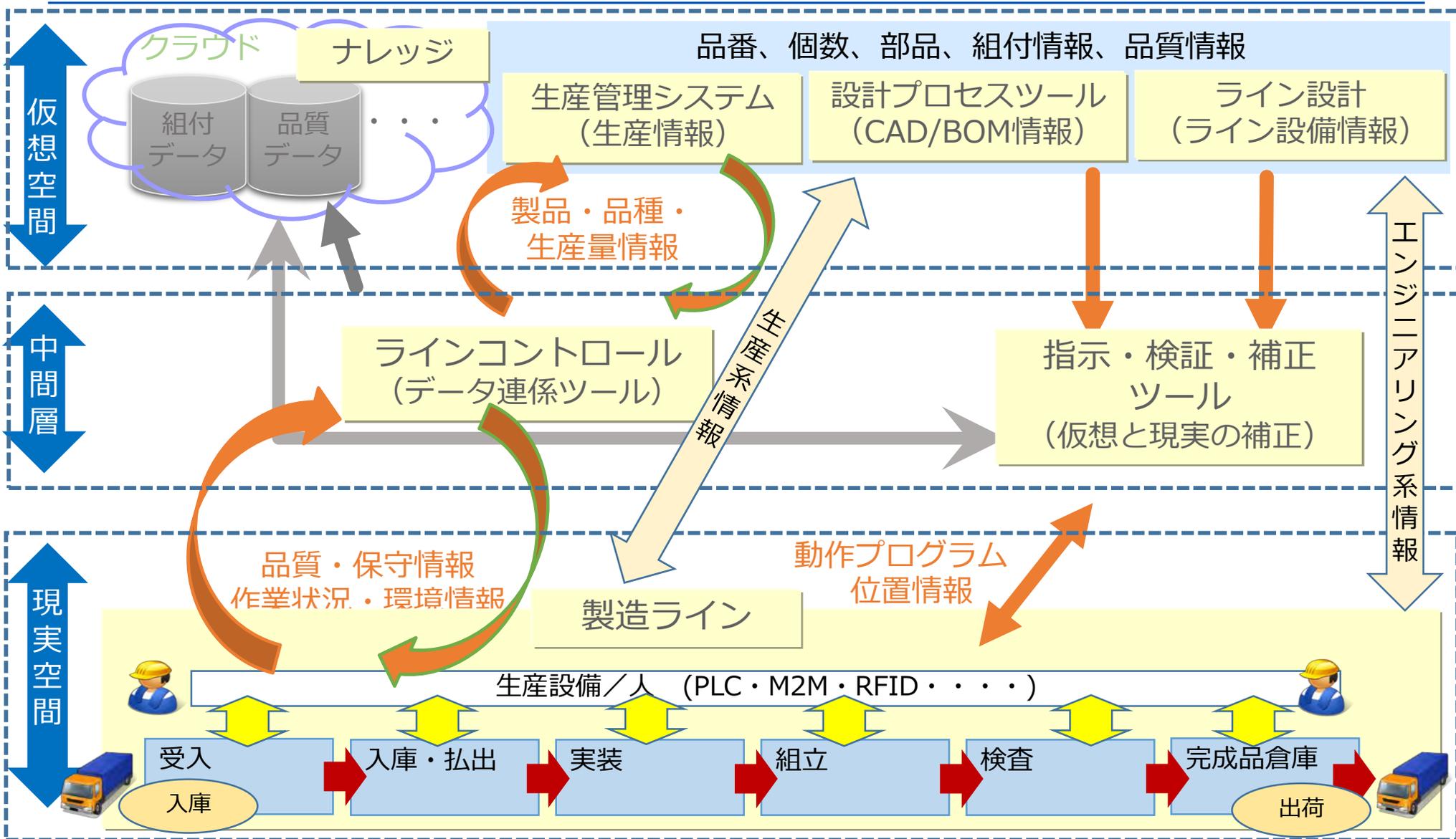


# 【補足 2】 装置機器構成例

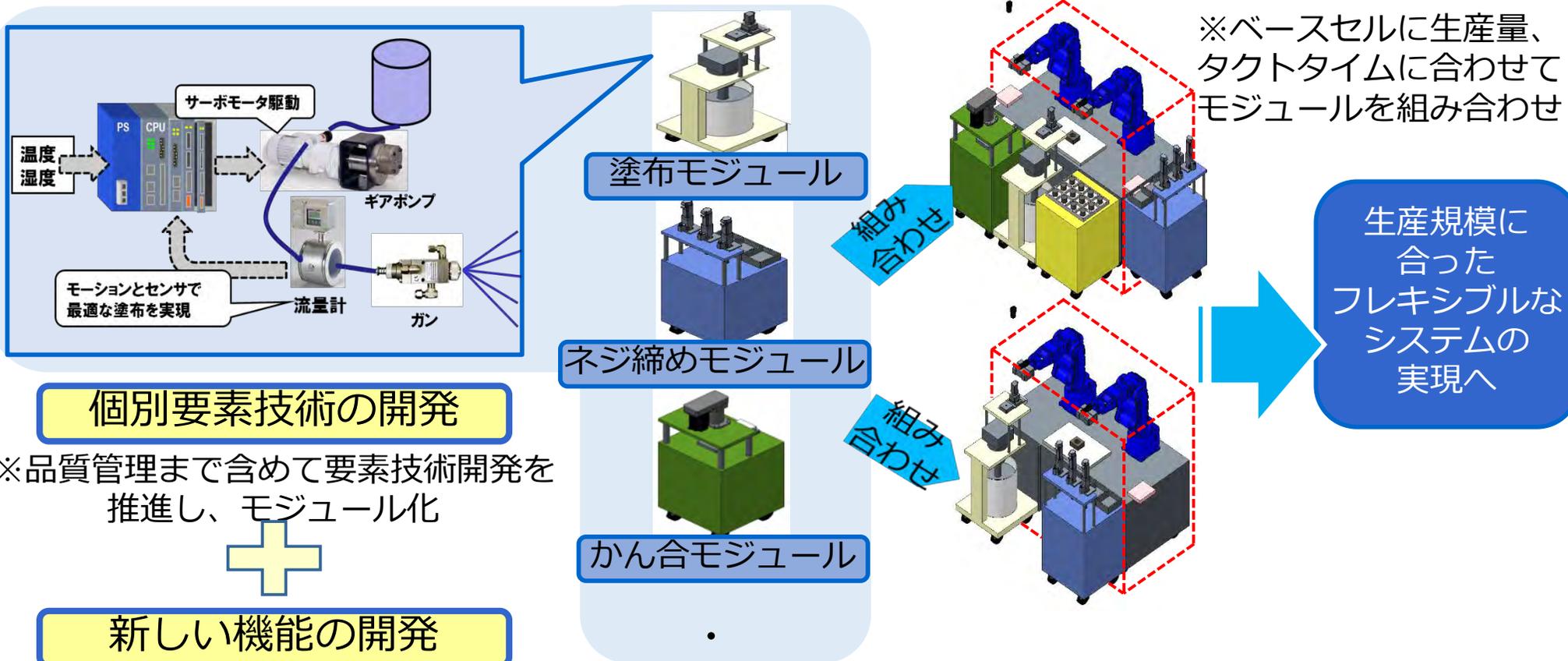
装置内に使われる機器の  
インターフェースの共用化



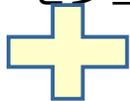
# 【補足3】ICTを活用した生産連携モデル



# 【補足 4】 要素技術開発と組み込み型汎用セル



※品質管理まで含めて要素技術開発を推進し、モジュール化



※センサ等を活用した機能を開発

- ・仮想空間と実空間のつなぐ、補正する
- ・ラインの稼働率を上げ、維持を簡単にする

を実現